

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

10月号

No.18
平成18年
10月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社

佐田岬13里見て歩き



今月の主な紙面

- 佐田岬13里見て歩き
- 伊方女性のつどい
- レクバレーボール交流大会
- 公民館だより
- 各地区文化祭開催
- 学校通信
- 町見郷土館から
- スポセンだより
- 児遊館だより
- 図書館だより
- 人権学習シリーズ
- 広報 文芸

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

10月のテーマ

“読書に親しもう”

(実践方法)

- 家族みんなで読書を楽しみ、その感想を話しあったり、本の読み方や選び方等について話し合おう



奥山伊三郎さんの案内で三机の須賀公園を見て歩き



高嶋賢二学芸員の案内で町見郷土館を見て歩き



宿泊地、瀬戸アグリトピアで夕食のカレー作り美味しくできたかな？

瓶町、旧保内町も加わっていましたが、合併後は伊方町のみの実施となりました。今年のコーヌは初日、町見公民館を出発し「行くな酷道」と言われた旧国道197号沿いを歩き、町見郷土館、亀ヶ池、須賀公園、川之浜ちりめん工場、(福島産業(有)瀬戸アグリトピアまで、2日目は三崎港を出発し佐田岬漁港まで歩きそこから船でクルージング。四国最西端の佐田岬灯台や梶谷鼻を海から眺め井野浦港で下船しました。そしてゴール地点の三崎公民館まで歩き25人の参加者は、ボランティアスタッフとして参加して頂いた三崎高校生や地元の方や教員の方のご協力のおかげで今年も無事全員が完歩することができました。

ふるさと佐田岬を見て、歩いて、13里

平成18年度伊方町女性のつどいを開催

―伊方町婦人会―

9月9日(土)、地域の女性指導者約60名が一堂に会し、平成18年度伊方町女性のつどいが開催されました。

この事業は、「健康で明るく心豊かな住みよいまちづくりのために、女性によるパワフルな活動を展開しよう」というテーマのもと、婦人会と町教育委員会が共催し、毎年行われています。

今年度は、京都市在住でチャールリストの高嶋紀子さんを講師に迎え、「女性の人権について」と題して講演会を実施しました。

まず初めに、これまで世界52カ国に自ら赴き、取材された女性の現状をお話されました。直に見てきた世界の貧困地域、紛争地域での女性や子どもは、教育を受ける権利はあろうか、生存の権利が脅かされている状態だそうです。

そんな現実でもひるまず、自分の道を切り



開き、今や母国のリーダーとなつて活躍している女性のエピソードには、受講された皆さんも熱心に聞き入っている様子でした。

先進国と言われている日本で今、社会問題となっている自殺、ニート、子どもに関する事件と対比したお話など、私たち女性ができることは何か、今一度、真剣に考えるよい機会になったのではないのでしょうか。

相続セミナーのご案内

いかた女性塾では左記の日程で、セミナーを開催いたします。

このセミナーは、「元氣な人のため」、「まだまだ若い人のため」、相続のプロに分かりやすく説明していただきます。

「財産を引き継ぐ方法」について、知らないではすまされない法則を学びましょう。

◇日時 平成18年10月31日(火) 13:30~15:15

◇場所 中央公民館 3階研修室

◇演題 「幸せな相続のための5つのステップ」

◇講師 梶田敦子さん (全国相続カウンセラー協会代表)

◇対象者 どなたでもOK

◇受講料 無料

◇申込方法 住所・氏名を10月24日(火)までに電話またはFAXで生涯学習課へ連絡してください。

TEL 38-2661
FAX 38-1179

※第2回ライブアップ講座を兼ねています。

愛媛スポレク祭2006 伊方町大会開催

8月27日(日)に瀬戸地域体育施設を主会場に愛媛スポレク祭2006伊方町大会が開催されました。

この大会は、愛媛スポレク祭の予選会と町内スポーツ愛好者の交流を目的に実施されました。



予選会については、インディアカとターゲット・バードゴルフを行い、交流会はソフトボールとレクバレーの全4種目を実施しました。

大会当日は、約250名の選手・役員が集い、ひとつひとつのプレーに歓声を上げ、終始和やかな雰囲気で行われましたが、予選会種目については白熱した試合も展開されました。

大会結果は次のとおりです。



●伊方町大会結果表

種 目	優 勝	準 優 勝	第 3 位	
インディアカ	み さ き	き ら ら	舞 姫	
ターゲット・バードゴルフ	一般の部	竹内柳一郎	小池晴幸	矢野佐一郎
	シニアの部	中村博道	堀内利和	結城八郎
	グランドシニアの部	森井重夫	宮本重男	森井武幸
ソフトボール	40歳未満	三崎	伊方	瀬戸
	40歳以上	三崎	伊方	瀬戸
レクバレー	1ブロック	みさき愛好会	M L O	川之浜ひまわり
	2ブロック	七色会	S.フラッパーズ	純

第1回 伊方町レクバレー交流大会開催

九月三日(日)、伊方町スポーツセンター及び伊方中学校体育館にてレクバレー交流大会が開催されました。

この大会は、日頃地理的条件によりスポーツに親しむ機会の少ない住民が一堂に集い、新町の町民間交流を積極的に行い、レクバレーを通じて親睦を深めることを目標に行われました。

大会当日は早朝からの開催にもかかわらず、男子6チーム、女子6チーム、混合25チーム、総勢約300人が参加しました。

職場チームでの参加、また友達同士での参加者等、チームにより個性はそれぞれでしたが、気の合う者同士、ひとつのボールを懸命に追いかけて、熱戦の中にも、笑顔があふれ、他のチームとも積極的に交流ができていました。

なお、初めての大会での上位入賞チームは、次のとおりです。



女子の部 優勝



混合の部 優勝



男子の部 優勝

●男子の部

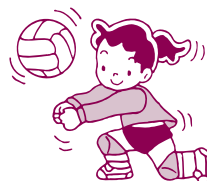
優 勝 川之浜
準優勝 伊方PSVBC
三 位 大久公民館

●女子の部

優 勝 ミックス・F
準優勝 サリー
三 位 川之浜

●混合の部

優 勝 はまゆう
準優勝 川之浜
三 位 七色会B



わくわく三崎公民館ニュース

お盆恒例の 三崎夏季体育大会 開催



選手宣誓の松下莉央君



全国大会出場の左からバレー部、少林寺拳法部、インディアカ部

8月14日、三崎地域のお盆恒例のスポーツイベント、盆大会こと夏季体育大会を三崎公民館と三崎体協の主催で開催しました。この大会は毎年お盆の14日に帰省客を交えて

行っており、ソフトボールとレクバレーそして、いつでも、だれでも気軽に体験スポーツコーナーでソフトテニスが実施され各種目の企画運営は三崎体協の各部が行いました。また今年は三崎体協のバレー部と少林寺拳法部及びインディアカ部が全国大会出場を果たしたことで、開会式に合わせて壮行会を行いました。今年で56回目となるこの大会も人



ソフト会場



レクバレー会場

8月14日に三崎地域の文化団体、岬カラオケ愛好会、山下康喜会長らの主催による納涼カラオケ大会が三崎港を会場に

三崎フェリーポートで 納涼カラオケ大会 開催



体験スポーツコーナー
ソフトテニス

口の減少とともに種目も限られ今では、3種目のみの実施となりました。それでも帰省客の年中行事ともなり、三崎のお盆は昼に太陽の下で夏季大会、夜には月明かりの下で盆踊りと、帰省客そして天国から帰って来たご先祖様とを交えにぎやかにそしてほのぼのと行われています。今年もソフト11チーム、レクバレーに8チームが参加しソフトは南部チーム、レクバレーは札幌チームが優勝しました。また体験スポーツコーナーのソフトテニスでは、参加者が和気あいあいとテニスを楽しんでいました。

行われました。参加者はトラックの荷台で作った特設ステージで気持ちよく十八番を披露し真夏の夜空で涼しさをあじわっていました。



三崎フェリーポートでの
納涼カラオケ大会

きりぎり三崎 クリーン大作戦



各地区で集めたゴミを学校に持ち寄り、分別する児童達

8月30日三崎地域の小・中学生と三崎高校の生徒が『きりぎり三崎クリーン大作戦』と題して三崎地域全域の清掃作業を行いました。この大作戦は、三崎地域の小・中・高校の交流と連携を深めることに、

地域を愛する心情を高める目的で実施されました。児童・生徒は地元の清掃を高校生及び教員の指導で行い、子供のいない地区、少ない地区は高校生が協力し、三崎地域全域をキラキラにしました。

やったぜ！ 三崎スポーツ少年団

井上久幸監督率いる三崎スポーツ少年団が8月20日に北九州で開催された竜王キング杯で3位の好成績を収めました。この大会は、九州・中国・四国地方のチームが参加して行われており、三崎スポーツ少年団は、予選リーグ戦を勝ち上がり決勝トーナメントの準決勝戦で惜しくも敗れましたが、好チームの集まる大会でみごとな成績を収めました。おめでとうございます。



好成績を収めた三崎スポーツ少年団

2006 三崎文化祭開催

佐田岬の文化の灯を育み、また日頃の文化活動の成果を披露するために下記のとおり文化祭を開催します。

内容は各種作品の展示・芸能公演等、文化を愛する皆さんの手作りのものが中心です。また、物産フェアやバザーも例年大好評で秋の味覚を堪能する文化祭にもなっています。たくさんの方のご来場を待っています。

とき 平成18年10月28・29日(土・日)

ところ 三崎総合体育館・三崎小中グラウンド

第31回 「伊方文化祭」のご案内

ふるさと大会・展示コーナー・餅つき等

例年行われている伊方地区の文化祭を11月3日の「文化の日」に伊方町民会館において、開催されます。

「ふるさと大会」は、各種文化団体の会員が、日頃の練習の成果を発表する場として、午後12時30分から4階大ホールで、「作品の展示コーナー」・その他「催し物コーナー」は、1階～3階までの各部屋とかロビー・階段を使って終日展示等行う予定です。

今年の初めての催し物として「餅つき大会」を行いますので、この機会に是非、大勢の皆さんのご来場をいただき、文化の秋を満喫してください。

なお、くわしい内容は、10月末にチラシを配布いたします。

瀬戸地域芸能文化祭への 出場及び作品募集

来る10月29日(日)瀬戸地域芸能文化祭を開催いたします。その際今年度はカラオケ大会出場者を広く募集しますので出場希望者は、事前に瀬戸町民センターへ申し込みをお願いたします。なお、作品の展示も行いますので、自慢の作品の出品をお待ちしています。

●カラオケ出場希望者及び作品出品の締め切りは10月13日(金)までにお願いたします。
※カラオケ出場者は約20名で先着順とします。また、出場決定後は事前にテープ又はCDの提出をお願いします。

■日時 平成18年10月29日(日)午前9時40分～15時30分

■場所 瀬戸町民センター(三机)

■内容 絵画、陶芸等の作品展示・小、中学生の絵画、書道の作品展示・芸能発表(文化部門・郷土芸能部門・カラオケ)・バザー等

※お問い合わせは瀬戸町民センターまで(57-2111)

平成18年度 地区別人権

同和教育懇談会 はじまる

※テーマ…つなげよう ふれあう心 築こう人権文化…

今年度も中浦地区を皮切りに、地区別人権・同和教育懇談会を開催しています。

積極的なご参加をお願いいたします。



学校通信

老人会との交流

「魚つり大会」

水ヶ浦小学校

今年もお年寄りの方々を講師にお迎えして、夏休み中に「魚つり大会」を実施しました。今回は、より楽しい活動になるようにと、朝夕表を参考に潮の状態がよい日時を決定しました。

事前の打合せ会では、釣りの場、えさの種類、釣り針やおもりの大きさなど、魚がたくさん釣れるように老人会の会長さん方が中心となられ計画の再検討を行いました。そして、前日には、蒸し暑い中、竿や仕掛けの点検・補修など、汗だくになりながら入念に行っていたいただきました。

そのようなお年寄りの姿を見て、子どもたちのことを大切に考えてくださっていることを実感しました。

さて、今年の釣果は、どうだったでしょうか。

去年は、一人で三匹が最高でした。しかし、今年は、なんと十七匹という記録が生まれました。また、一匹も釣れなかったという児童も昨年度より少なかったような気がします。(初めて釣れた。)という声があちらこちらから聞かれました。

ほとんど釣れないのではな



お年寄りの方から餌の付け方を教わる児童たち



よく釣れるようにと仕掛けのチェックをしてもらっている

いか、という心配の声も聞かれた「魚つり大会」でしたが、お年寄りの方々の事前の心配りと御指導のお陰で、子どもたちの思い出に残る楽しい行事になりました。

一学期の学校行事から

三机小学校

五月十一日、日赤奉仕団の方々と一緒に「手つなぎボランティア」を行いました。児童数の割に広い運動場に、奉仕団の方々から「言ってくれたら、いつでも草引きしてあげるよ。」と温かいお言葉を頂きました。今年もこの行事から地域との交流をスタートさせました。

五月三十日、交通安全・防犯教室を行いました。交通安全教室では、交通マナーの向上、特に道路の正しい歩き方や横断歩道の渡り方、正しい自転車の乗り方を中心に学習を行いました。防犯教室では、自分を守る力の向上を図るために合言葉「ライカノオスシ」の大切さを理解しました。この教室の学習を通して

して、交通事故の怖さ・命の大切さを実感することができました。

七月四日、本物の舞台芸術体験事業(十月四日の「西遊記 悟空誕生の巻」)のためのワークショップを開きました。劇団員と共演する児童がロープで様々なものを表現しました。短い時間でしたが、本番が楽しみになる有意義な時間をもてました。



多種多様な行事があります。これらの行事を通して児童が大きくなっていくことを願っています。

わくわく飼育スペースで

命の触れ合いを

二名津小学校

平成元年に青色瓦の飼育小屋が建てられ、ウサギ等の飼育をしてきました。

ウサギの餌は、当番の児童や教職員が用意したり、山仕事の帰りに、チチグサを小屋の近くに置いて行かれる地域の方々のおかげがあって、まかなえてきました。

今春、二羽のウサギが続けて

平成元年に青色瓦の飼育小屋が建てられ、ウサギ等の飼育をしてきました。

ウサギの餌は、当番の児童や教職員が用意したり、山仕事の帰りに、チチグサを小屋の近くに置いて行かれる地域の方々のおかげがあって、まかなえてきました。

今春、二羽のウサギが続けて

屋根付きの飼育スペースを保護者の御協力によって建てることができました。

おかげで、全天候できれいな環境の下、ウサギやニワトリと触れることができるようになりました。ウサギの育成環境がよくなり、三月末は三羽だったのが九月現在八羽に増えました。

感性豊かな思春期の子もたちにとって、小さな命への労わりや体の温もりを感じること、自らの心の慰めになればと思います。生命の尊厳を学びながら、人間性豊かな子どもに育ってほしいと願っています。

町見郷土館から

洗濯機がバラバラ!? 1回きりの分解ショー



8月27日「二度と見れない!? 電気洗濯機分解ショー」を開催。家電メーカーさんによってバラバラにされてゆく洗濯機を前に、参加者の好奇心と探究心はヒートアップ! 家電リサイクル法なども学び、貴重な機会となりました♪

★夏の企画展『洗濯日和』9月24日で無事閉展。期間中多数のご来場、誠にありがとうございました。

スケッチ 展示室に待望の空調機設置!

より快適なご観覧のひと時をお届けできそうです♪町見郷土館は今後もより良好な博物館の資料保存環境実現にまい進いたします!



◆今月のきょうどかん◆

Calendar for October 2006 with dates 1-31.

■=おやすみ 休館日は都合により、変更する場合があります。

TEL・FAX 39-0241 (不在の場合) 38-2661 生涯学習課 開館時間 9:30~16:30 休館 月ほか

佐田岬民俗ノート

17

神楽

神楽地区には伊方町内唯一の神楽保存会があります。神楽神楽保存会(結城八郎会長)の始まりは、昭和6年(一九三一)3月。満州出征兵士慰問のため、青年男女十数名が、四ツ浜・神松名・三崎の各村で募金を集めて送金しましたが、余りが出てしまったのがきっかけでした。当時神楽は春祭りの日を変えて小島地区の祭りと重なったため、神楽を舞う宮司さんが来られなくなっていました。そこで、宇都宮松義さんはじめ当時の青年有志たちが一念発起。募金の残金を元手に道具を工面し、自分たちで神楽を舞いはじめたのです。

このあたりでは、以前から川之浜に神職の家系が数軒あり、その人たちが近隣の祭祀に神楽を舞っていました。当時の神崎六社神社を担っていた阿部静雄宮司も、住んでいたのは川之浜。ただし毎年春祈禱には、家々を祈禱するため、地区の某家を宿に、ひと月程神崎に滞在したため、その機会に神楽を教わったようです。最初は、衣装も青年女子の絞り染め、手縫い。飯面も紙や木で作ったお手製のものだったそうです。かくして青年たちが始めた神楽は、道具も徐々に充実させ、地元春秋の祭祀に演じ続けられて、今年で結成75周年。今も変わらぬ演目は、①御四天②手草③神靖司④刀の舞⑤大鬼拂⑥古今⑦弓の舞⑧こつしの舞⑨盆の舞⑩羅殺⑪山の内⑫蛇太治⑬鎮火。特に最後の鎮火は「火の舞」ともい、火のついた割り竹の束を両手に舞う舞で(現在は春祭のみ。火は消して舞う、近隣の八幡浜の川名津神楽等を想起



神楽神楽より「羅殺」(1999年撮影・佐々木邦満さん提供)

させる大変興味深いものです。舞終えると、その燃えかすを皆が各家に持ち帰って床の間に飾り、ご祈禱にするのだそうです。地区の結束力と勢いそのままに誕生した「神楽神楽」は、今やこの半島で古くから演じられていた神楽の技を伝える唯一の芸能集団となりました。取材協力 神崎・大内幸重さん 佐々木邦満さん


伊方スポーツセンターをより



ジュニアスイミングスクール 第4期生を募集いたします。



- ◆時 間 ①16:20~17:10
②17:20~18:10
- ◆期 間 10月26日~12月21日
(毎週木曜日)
- ◆対象者 5歳児~小学3年生
- ◆会 場 伊方スポーツセンター
屋内プール
- ◆定 員 40名
- ◆受講料 6,400円/2ヶ月(8回分)

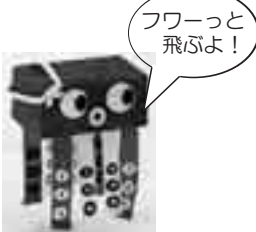
● 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。
伊方スポーツセンター ☎ 38-1100、☎ 38-0776 

児遊館より

ズボンづくりのご案内について

10月21日(土)午後2時からズボンづくりを行います。参加費は無料となっておりますので皆で作って遊びましょう。

【お問い合わせ】
伊方町生涯学習センター内
児遊館
38-1020




三崎公民館からのお知らせコーナー!!

三崎地域運動会開催

三崎地域の町民運動会が6年ぶりに開催!!

- と き 平成18年10月22日(日)
- と ころ 三崎小中グラウンド

多くの方のご来場をお待ちしております。 

新体カテスト! あなたの体年齢は?

運動不足になりがちなお父さん、お母さん **参加無料**

6種類の簡単なテストで体の年齢を測ってみませんか!

- と き 平成18年10月14日(土) 8:30~11:40
- と ころ 三崎総合体育館
- 申込み先 三崎公民館 ■お問い合わせはTEL 54-1114まで



図書館だより



今月の新刊

○一般向け

- まほろ駅前多田便利軒/三浦しをん 著
- 風に舞い上がるビニールシート/森 絵都 著
- うらなり/小林信彦 著
- 赤い指/東野圭吾 著
- 下北サンデーズ/石田衣良 著
- ぬるい生活/群 ようこ 著
- 緑のメイソウ/糸山秋子 著
- カードセキュリティのすべて/神永正博 著
- ありふれた風景/あさのあつこ 著
- 教育格差/和田秀樹 著
- 介護付高齢者ホームのすべてがわかる本/新谷尚紀 著
- 中高年の目の病気/大鹿哲郎 総監修

ほか

○子ども向け

- 雲をみようよ/トミー・デ・パオラ 作, 福本友美子 訳
- 八月の髪飾り/那須正幹 作, 片岡まみこ 絵
- ぼくとバブーン まちへおかいもの/ベット・ウェステラ 作, スザーネ・ディーデレン 絵, 野坂悦子 訳
- はじめてのくさばなあそび/グループ・コロンプス 著, 吉田奈美 絵
- ぼくの町に電車がきた/鈴木まもる 文・絵
- やまおやじ/今森光彦 写真・文
- Gold Rush!/シド・フライシュマン 作, 金原瑞人、市川由季子 共訳, 矢島真澄 絵
- いつもそばに犬がいた/ゲイリー・ポールセン 作, はら るい 訳, かみやしん 絵
- のんきなりゆう/ケネス・グレアム 作, インガ・ムーア 絵, 中川千尋 訳
- はなかつぱ/あきやまただし 著
- しらないまち/田島征三 作

ほか



開館1周年特別展示 開催!!

10月1日(日)~29(日)の間、展示コーナーにてピーターラビットの絵本やマザーグースの絵本を展示いたします。ぜひ、お越しください。

一秋の読書週間

10月27日(金)~11月9日(木)

利用案内

- 開館日/火曜日~日曜日
午前9時30分~午後6時
- 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・月末図書整理日・年末年始(12月29日から1月3日)・蔵書点検日

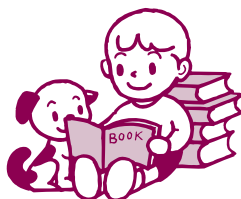
伊方町立図書館

伊方町湊浦1992番地
伊方町生涯学習センター2階
TEL(0894)38-0607 FAX (0894)38-0617
瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

10月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■…休館日



ピップスおはなし会のご案内

10月のおはなし会は
14日(土)・28日(土)の
午後2時から行います。



絵本の読み聞かせや紙芝居などをおはなしコーナーで行っています。
みんな来てね!





人権学習シリーズ 202

家庭における人権学習の推進

町見公民館

家庭は、生涯学習の出発点であり、とりわけ人権尊重の意識や態度を育むうえで重要な場です。

子どもに豊かな情操や思いやり、善悪の判断など基本的な生活習慣や社会性を身につける実践の場でもあります。

しかし、近年の核家族化、少子化などの家庭環境の変化に伴い、「児童虐待」「いじめ・不登校」など、家庭の養育力、教育力の低下に起因すると考えられる人権問題がクローズアップされています。

また、子育てや子どもとの関わりに不安や悩みを抱える母親が増加している状況もあります。

家庭は子どもの人格形成の基盤であり「子は親を写す鏡です。(子どもは、親の言うとおりはしないが、するとおりにする。)」

親の差別的な意識が、言動を通じて子どもに再生産される場合が少なくないといわれています。

温かな憩いの場である家庭で、一人一人が生きがいをもって心豊かに生きていくために、家族が一緒になって話し合うことが大切です。

次に紹介する詩を味わい、実践してみてもう一度しよう。

『思いやり無限大』

優しい言葉をかけてもらおうと

優しい言葉で応える

子どもに優しさを与えると

優しい子どもが返ってくる

家庭で、学校で、地域で

思いやりの心を育てていこう 無限大に

優しいあいさつ、楽しいあいさつ

あいさつから思いやりが生まれる

「おはよう！」の一言で 親しみが生まれる

無限大の思いやりを生むために

あいさつからはじめよう

		7日 生放送	14日 生放送	21日 生放送	28日 生放送	<p>生涯学習センターでは、三階児童遊館において、子ども放送局を放映しています。楽しい番組が盛りだくさん。皆さんの参加をお待ちしています。</p> <p>子ども放送局</p>	<p>みんな来て！見て！参加してね！</p>
10月	11:00	Let's open the door! ⑳	Let's open the door! ㉑	輝く子どもたち てげ元気 やっちゃが! 宮崎っ子	Let's open the door! ㉒		
	11:05	子ども放送局 ニュース にじいろ玉手箱	ゆめ 夢スタジオ サッカーW杯 もうひとりの 主人公	宮崎県から 生放送!	チャレンジ教室 ものづくり カプリモノで 変身だ!		
	11:15	「おしえてニュース」 「なんでも やってみよう」 大空で風を感じてみよう! ～パラグライダー 体験～	～審判員 岡田正義さん～ 選手が安全に思い きりプレーできるの は、影で支える審判 員がいるからこそ。 日本初のプロ審判 員の岡田さんに、審 判員の仕事について 教えてもらおう。	ひよつとこ踊りや アカウミガメの保護 など、宮崎県のお友 だちの様々な活動を 紹介するよ!	1枚の紙を切りぬ くだけで、たのしい カプリモノのできあ がり!自分の好きな もようをつけて、 みんなで変身してみ よう。 講師 チャッピー岡本 さん		
	11:30	「子ども特派員報告」 「おたよりコーナー」 など。					
	11:45	全国の体験活動情報が ぎゅっしり。(11:45)	(11:45)	(12:30)	(12:00)		
		再放送 7日 13:30～ 11日 15:30～	再放送 14日 13:30～ 18日 15:30～	再放送 21日 13:30～ 25日 15:30～	再放送 28日 13:30～ 11/1日 15:30～		

☆ 生放送の番組では、質問・意見をファックス(03-5790-8154)、電子メールkdmhoso@nyc.go.jpで募集中!

報 文 芸

俳句

町見野の花句会

語れずに死出の旅路を惜しむ秋 松田紋司朗
 意気はずみ「富の宝引」敬老会 上口久志
 下駄鳴らし浴衣着流し夏越祭 上田文男
 昼寝さめ妻も昼寝よ恙なき 浜田保仁
 夕端居かるき疲れの足を伸べ 山口朝子
 浦風や猛宗の掃く雲の峰 古田かずゑ
 渾め塩汗の黒衣の前うしろ 岩見愛子
 惚け封じ寺に掬びて岩清水 菊池あつ子
 秋の夜や戦を語る古兵殿 大沢昭子
 老いてなお粋な着こなし敬老日 林そで子
 散策や白さるすべり宵闇に 川縁秀子
 秋立つや乙亥会館名残り膳 山田美恵子
 黍は穂にホルスタインの巨像かな 岩井ふみえ

瀬戸句会

閃光を追う雷鳴や俄雨 得能かつみ
 コンクリの割れ目に咲きし三時花 得能悦子
 乙亥の里の盛塩顕てる土俵かな 西山美津子
 荒ぶ世に寿ぐ皇子や秋櫻 城岡正治
 すすやかに咲きし夏花いやされて 八城征雄
 夏休み宿題を背に蟬の声 岡本 登
 朝顔や凜と上向き朝日受く 福岡 博
 炎天下木陰に身を寄せパスの客 小関秀次
 甲子園歴史に残る残暑かな 吉上マツエ
 水郷に昔をしのぶ夏至の月 本田光男
 娘より届くや気障な夏帽子 吉見福子
 近出して万緑の中母と居る 佐々木 照
 梅雨激し微熱の母の水枕 佐々木禮子
 瀬戸の尾根月光浴びて大風車 丸川一彦
 久方の妻なき空に二重虹 長尾金満
 涼やかな軒の風鈴そこかしこ 佐々木サチ子
 流れ星向いの浦も踊り唄 佐々木忠雄
 ひとり居の大暑に迫る台颱風 浅井ミドリ
 雨に散り散りてまた咲く百日紅 大星幸子
 産土の母郷貧しき秋のこえ 木村松代

さぎなみ句会

九十路を登る地下足袋まだおんな 谷口ハナエ
 合掌を解けば手話の手秋遍路 大谷 勉
 百姓にか細き岬猪と棲む 中谷はる子
 猪荒るる親王誕生祝ぎるしに 中谷段々子
 打たる手を上手に逃げる蚊口開けて 井上幸子
 盆帰省迎えし送り我一人 高茂弘子
 コオロギがばらくとびかう足もと 結城励子
 しし荒るる新王誕生祝ぎるしに 中谷段々子
 風垣の内から続く蜜柑山 宮本マサ子
 浜木綿の終り近づく絵手紙や 松本光女
 花臭木ゆっくりりずむの大風車 宮部タミエ
 我が寿命心に急ぐや用意秋 今川キクエ
 柑作りよき雨と陽の恵み秋 今川又一
 みかん山ズボン破れて風涼し 葉月 渚
 秋高し茜を背にし豊後富士 中村 豊
 陽は遅く朝からさわぐせみしぐれ 石田 満
 咳こめば思い出やさし母の手が 阿部八重
 苦汁菜の花がよろこぶ故郷よ 山内須磨子
 濯ぎ物干すペランダに銀河冴え 山内良子

川柳

伊方町川柳会

不況でもイルミネーション活気呼ぶ 長尾金満
 アルカイダ無法秋立つ同時テロ 吉見福子
 迷い箸食欲の秋空たかし 丸川一彦
 ピラカンサ赤い服着た女の子 吉上マツエ
 母郷病んで海山寂し秋のこえ 木村松代
 長き夜の友との電話つい長く 浅井ミドリ
 秋暑シタルパンチの物価高 笹田吉子
 涼風に川原のすすきなびく音 川口篤夫
 我が思ひ託してみたい菊人形 神原貞規
 菊の花丹精込めた晴舞台 阿波伸己
 栗ごはんおこげが味増すかまど炊き 渡邊由紀
 幕を閉じ新たな風に夢馳せる 井上 靖
 夕晴れて蟬の声聞く家路かな 竹上正也
 盆供養太鼓の音も天上に 小西紀代子
 夏の雲時を忘れてぼんやりと 大成由佳
 九十路の地下足袋に聞く秋のこえ 谷口ハナエ
 百姓にか細き岬猪と棲む 中谷はる子
 出直しのキップをぐっと握りしむ 矢野佐一郎
 戦無き地球を祈る大花火 池田君子
 名勝負負けた球児に大拍手 篠川佳津子
 敬老に感謝してます幸せです 菊池真志江
 死して尚兜がつつり甲虫 木戸恵津子
 じんあいに紛れて本性丸出しに 松坂正子
 地球儀の小さき日本頑張って 山崎美喜
 どこ置いた片付け過ぎて大騒ぎ 門田千枝
 盆に来た孫が生き甲斐置いてくれ 西田たえ子
 足長の力士の夢も大銀杏 田村智子
 猪荒す吾が物顔で落掘って 井上良江
 浜昼顔いじめに負けんと絡み合おう 梶谷芳泉
 寝たきりになっても偉いお母さん 徳田 郁
 アルカイダ目に入らぬか同時テロ 中谷段々子
 魚より釣り人多し浜突堤 山内 徹
 じゃがいもを植える木灰農にない 中谷はる子
 無住寺に落ちて銀杏拾われず 葉月 渚
 原油高窓の開閉急がしく 石田 満

誤記訂正のお詫び

9月号11頁9行目「藤椅子に倚れば漁り火」とあるのは「藤椅子に倚れば漁り火海の風」が正